

第134代副議長に選ばれました



副議長
Vice-Speaker

夏本番を迎え、青空がまぶしい季節となりました。

先の6月定例県議会で、第134代副議長に選ばれました。加古郡からの選出は昭和6年以来、95年ぶりとなるそうです。改めて、日頃の皆様のお支えに感謝申し上げます。議会を司る議長を補佐しながら対話と協調をテーマに円滑な議会運営に努め、覚悟と誇りを持って重責に全力で取り組んでいく意気込みです。

中東情勢や物価高対策に重点を置いた総額3兆円超に上る、国の2026年度補正予算が成立しました。7月から9月分の家庭用電気・ガス料金負担を5千円ほど引き下げる支援策などを盛り込んだほか、地方自治体には1千億円規模の交付金が追加措置され、本県でも補正予算を編成・執行しています。

本県は近く「起債許可団体」となり、国の監督をもとに財政再建を進めることとなります。限られた財源をどう分配するかが課題ですが、行政では「赤字」悪化とは限らず、災害対応や福祉医療など命と生活を守る役割は何をおいても果たさねばなりません。

施策のバランスを熟慮した選択と集中を一層徹底し、次の世代に誇れる兵庫の未来を切り拓いていく決意をお伝えし、挨拶いたします。

日頃の感謝を忘れず、兵庫のために覚悟と誇りを持って全力を尽くす意気込みです！



「異常な暑さ」警戒を!! 熱中症対策

「異常な暑さ」に厳重な警戒をお願いいたします！

今夏は平年を上回る高温が見込まれ、35℃以上の猛暑日をはじめ、40℃を超える酷暑が観測される可能性も高まっています。無理のない範囲で汗をかくなど、暑さに体を慣れさせる早めの対策を心がけましょう。

気象庁などは暑さ指数をもとに熱中症の「警戒アラート」と「特別警戒アラート」で警鐘しています。アラートが発表された日はできるだけ外出を控えて下さい。

【熱中症対策】

《室内》ためらわずにエアコンを使用し、通気性や吸水性のよい衣服を選ぶ。水分補給もこまめに

《屋外》日傘や帽子の着用、こまめな水分補給、日かげを歩くなどの対策を徹底



燃料高騰、ナフサ不足… 石油に依存しない経営構造改革促す

兵庫県議会は6月、中東情勢の緊迫化による燃料高騰や物資の供給不足に対応する補正予算を審議して可決し、緊急経済対策として速やかに執行しました。

予算規模は一般会計で14億6300万円。財源は国の交付金を充てました。脱原油の構造改革を促す支援策の拡充などを盛り込んだ内容で、詳細は裏面で紹介しています。

事業者用の相談窓口開設、資金繰りのための融資対象拡大などは急を要したため、3月から4月にかけて専決実施しています。

6月補正予算の主な概要

中東情勢を踏まえた対策

企業の収益力向上で既存支援を拡充

【稼ぐ力の強化】⇒2.1億円 UPI

【農業施設貸与事業】⇒1.2億円 UPI

【畜産堆肥活用など耕畜連携】⇒1.5億円 UPI

【地場産業の経営支援】⇒1.5億円 新

【プラスチック包装削減モデル事業】⇒2100万円 新

知事給与減額の条例改正案 問題発言で4度目継続審議に

元県幹部の文書告発に伴う私的情報漏えい問題を受け、知事の管理責任として給与を減額する条例改正案が6月県議会に上程されましたが、継続審議としまし

た。これで4回連続となります。自民党県議団は引き続き、情報漏えいの説明責任を求めています。

【審議結果（会派別）】

▶継続に賛成：自由民主党、公明党

▶継続に反対：維新の会、ひょうご県民連合
躍動の会、日本共産党

被爆樹木二世「アオギリ」が播磨町向ヶ池公園に

戦後80年の節目にあたり、原爆の惨禍にも生き抜いた被ばく樹木二世「アオギリ」が6月20日、播磨町東本荘の向ヶ池公園（播磨町役場の隣）に植樹されました。原爆が投下された爆心地から半径約2km以内（広島市）と4km以

内（長崎市）で被ばくした樹木の苗木で、平和首長会議から譲り受けました。公園内のモニュメント「平和の礎」辺りに植えられています。平和の象徴として見守っていきたいですね。8月15日の「終戦の日」を念頭に、付近にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



中東情勢の対応で6月県補正予算編成！

Vol.
01

電気・ガス・LPガスの料金負担を支援

- 令和8年7～9月分の電気・ガス料金負担を支援（約5000円分、国施策）
- 国支援の対象とならない特別高圧電力を受電する中小企業やLPガス利用者への負担軽減対策を実施（3カ月分相当、県施策）



Vol.
02

農林水産事業者の省エネ化などを促進

- ▶農業施設貸与事業：施設園芸で省エネ生産によるコスト削減のための施設導入を支援
- ▶漁業施設貸与事業：省燃油による経営コスト削減などを行う漁業者の施設導入を支援
- ▶耕畜連携推進事業：自給飼料の増産を進めるための設備・機械の導入を支援

Vol.
03

脱原油へ事業者の経営構造改革を支援

- 稼ぐ力の強化めざし企業の経営構造改革へ**
 - 原油由来の原材料からの脱却、調達先の多角化など、稼ぐ力の強化をめざして事業者の将来を見据えた経営構造改革の取り組みを支援します
- 地場産業の経営構造改革につながる活動応援**
 - 地場産業の持続的な振興へ、原材料調達先の多角化、新たな主力事業の立ち上げ、低コスト化・高効率化など構造改革につながる活動を応援します
- プラスチック包装の削減でモデル事業を発信**
 - プラスチック包装の原料となるナフサの高騰・供給不足を踏まえ、代替素材への転換や量り売りによるプラスチック使用量の削減を進める県内の小売店などを支援し、資源循環の取り組みモデルとして発信します



本県を拠点とする救急医療用ドクターヘリは地元の県立加古川医療センターなどに2機あり、学校法人ヒラタ学園に運航委託していますが、ヘリに同乗する整備士が確保できないなどを理由に運航休止する可能性が伝えられています。7月は2週間程度の運航が可能となりました。8月以降は依然不透明ですが、引き続き早期対応や再発防止を申し入れつつ、近隣府県の応援を求めています。

県議会でも、運航基準の緩和など新たな立法措置の検討などを求める意見書を取りまとめ、国に要望しています。

ドクターヘリ安定運航 国に立法措置求める

産業労働常任委員会 に所属しました

県議会の調査機関では、地域の経済対策や観光振興などを扱う産業労働常任委員会に所属。国の政策を見据えた効果的な対策の研究に取り組んでいます。

県が「起債許可団体」へ 金利上昇で公債費増す

今後 投資を 30年間 規模を 20%程度抑制の可能性も

本県は今夏に発表される令和7年度決算で、収入に対する借金の割合（実質公債費比率）が18%以上となり、地方債（借金）の発行に国の許可が必要な「起債許可団体」に移行する見通しです。災害対応や再発防止策といったインフ

ラ整備の財源は主に地方債で賄ってきましたが、近年の金利上昇で公債費負担が大幅に膨らんだことが背景にあります。県では有識者でつくる「持続可能な財政運営検討会」を設置し、財政健全

化や投資事業のあり方の見直しを開始。債務償還費などを抑制する指針となる「公債費負担適正化計画」に盛り込み、8月頃に総務省に提出する予定です。県によると、投資規模を維持したままだと実質公債費比率は令和35年度で19.4%程度。起債許可団体から抜け出せませんが、20%削減すると17.6%まで回復し、39年度までの30年間で累計290億円の効果額が見込まれると試算しています。

フォト・レポート

岡つよし県議会議員の



稲美町出身でスケートボード女子ストリート世界ランク2位の大西七海選手と！
（6月7日）



東播磨の六条大麦を使用したドーナツを県立農業高校の生徒やJA兵庫南、(株)オイスが開発。にじいろふあーみんなどで販売され、人気を集めました（3月9日）

岡つよしに
ご意見・ご要望を！

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com